



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1425 2024 年 11 月 5 日

ARIB からのお知らせ

Inter BEE 2024 への出展参加について

国際放送機器展 (Inter BEE 2024) が、11 月 13 日 (水) から 11 月 15 日 (金) まで幕張メッセで開催されます。Inter BEE は今年で 60 回目を迎える映像・音声・通信に関する国際展示会で、「アフターコロナ時代におけるメディア産業の新たなユーザーエクスペリエンスを提示する展示会として、『コンテンツ』を中核に位置づけ、コンテンツを『つくる (制作)』『おく (伝送)』『うける (体験)』の技術要素を網羅した『メディア総合イベント』に変容することを目指す」ものです。

ARIB では、地上デジタル放送日本方式 (ISDB-T) の国際普及活動について、ARIB に設置されたデジタル放送普及活動作業班 (DiBEG) が総務省とともに長年にわたり積極的に活動を行い、日本を含め 20 か国に広まりました。また、DiBEG では、2020 年 7 月からブラジルの SBTVD フォーラム (地上デジタル放送標準化団体) が実施している「地上デジタル放送の高度化 (4K、8K、放送通信融合等)」に向けた CfP (Call for Proposals TV3.0 Project) への対応を進めました。

本年度の Inter BEE のブースでは、これまでの ISDB-T の国際普及活動の概要をパネル展示やパンフレットの配布等により紹介するとともに、デジタル放送システム、スタジオ設備、素材伝送システム関連の規格の策定/改定状況と地上デジタル放送方式高度化関連の活動について紹介します。

ARIB ブースはナンバー3319 (ホール 3) に設置される予定です。会員の皆様におかれましては、Inter BEE 2024 へのご来場の際には、ARIB ブースにもお立ち寄りいただければ幸いです。

ARIB 機関誌 No.126 発行のお知らせ

ARIB 機関誌 No.126 を 10 月 31 日付にて発行しました。

本号では、当会の副会長による「巻頭言」を掲載しています。

「ARIB 活動報告」では、2024 年 7 月から 2024 年 9 月末までの活動期報告を掲載していません。

ARIB 機関誌 No.126 掲載記事

【巻頭言】

- ・ 自然災害における放送の役割と放送・通信サービスへの期待
一般社団法人電波産業会 副会長 川島 徳之
(株式会社フジテレビジョン 専務取締役)
- ・ Beyond 5G/6G 時代における社会課題解決に向けた通信インフラの進化と AI 活用の促進
一般社団法人電波産業会 副会長 関和 智弘
(ソフトバンク株式会社 常務執行役員 兼 CNO)

【ARIB 活動報告】

電波の利用に関する調査、研究及び開発

電波利用システムの調査研究

電波利用システムの研究開発

高度無線通信研究開発

電磁環境調査研究

コンサルティング及び普及啓発

標準規格の策定

委員会報告

ARIB 日誌

出版物一覧

事務局の現状

事務局だより



ARIB 機関誌電子版を「ARIB 会員のページ」、「ARIB 機関誌」に掲載していますので、ご利用ください。

なお、ID・パスワードが不明の方は ARIB 会員連絡窓口までお問い合わせ下さい。

CEATEC2024 「5G/6G スペシャルデー I」の開催概要報告

CEATEC2024 「5G/6G スペシャルデー I」が10月16日（水）から10月17日（木）にかけて幕張メッセ国際会議場のコンベンションホール A において、総務省、XG モバイル推進フォーラム（XGMF）、一般社団法人電波産業会（ARIB）、国立大学法人東京大学の共催により、オンライン併用により開催されました。

3つのセッション構成により、10月16日（水）午前には「5G 利活用国際ワークショップ」、同日午後には「ローカル 5G 国際ワークショップ」、10月17日（木）には「5G/6G 国際カンファレンス」が実施されました。

2日間を通じて722名の会場参加並びに236名のオンライン視聴がありました。

アーカイブ配信は、後日 XGMF ウェブサイトにて実施予定です。（URL: <https://xgmf.jp/>）

【1. 内容】

●1日目（2024年10月16日（水））

午前の部：「5G 国際ワークショップ」

テ ー マ：「産業利用の最新動向～陸、海、空、宇宙に夢が広がる 5G 通信～」

前 半：講演「リニア中央新幹線における無線通信」、「5GAA, pioneering digital transformation in the automotive industry」他

後 半：パネル討論

登壇者：大山りか氏（ON BOARD）、森川博之氏（XGMF 共同代表、東京大学）、小出洋氏（東海旅客鉄道株式会社）、Maxime Flament 氏（5GAA）（ビデオ講演）、Ray Tseng 氏（Nokia）、杉田博司氏（KDDI スマートドローン株式会社）、湧川隆次氏（ソフトバンク株式会社）、柴山大樹氏（5GAA（株式会社 NTT ドコモ））

※5GAA：5G Automotive Association

午後の部：「ローカル 5G 国際ワークショップ」

テ ー マ：「工場・製造業+ビジネス開発に挑むグローバルな最前線」

前 半：講演「Industrial 5G-State of the Union」、「Flexible Society Project 製造・物流・医療・インフラの DX を支える無線技術」他

後 半：パネル討論

登壇者：城田雅一氏（5G-ACIA（クアルコムジャパン合同会社））、板谷聡子氏（FFPA（国立研究開発法人情報通信研究機構））、日比学氏（XGMF（京セラコミュニケーションシステム株式会社））、藤本幸一郎氏（BA（日本電気株式会社））、Brian Huang 氏（REIGN Technology Corporation）（オンライン講演）、Thomas Fuerst 氏（Verizon Business Group）（ビデオ講演）、中村武宏氏（XGMF（株式会社 NTT ドコモ））、岩浪剛太氏（XGMF（株式会社インフォシティ））、吉田進氏（5GMF 元会長、京都大学名誉教授）

※5G-ACIA: 5G Alliance for Connected Industries and Automation

FFPA: Flexible Factory Partner Alliance

BA: Broadband Association

●2日目(2024年10月17日(木))「5G/6G国際カンファレンス」

午 前：各国政府関係者講演

パネル討論「XG Cyber Lifeline (Advancing Resilient and Robust Cyber Infrastructure for a Global Digital Future)」

午 後：各国キャリア講演

各国ベンダ講演

その他企業・団体講演

登壇者：Hermano Tercius氏(ブラジル通信省)、松井正幸氏(総務省)、
竇迫巖氏(国立研究開発法人情報通信研究機構)、Chung Jaehoon氏(韓国科学
技術情報通信部)、Kim Phirun氏(カンボジア郵便電気通信省)、
中尾彰宏氏(XGMF共同代表、東京大学)、Abhimanyu Gosain氏(PAWR)、
Paul Wijngaard氏(6G FNS Program Board)、Takki Yu(SK Telecom)(オン
ライン講演)、Wang Xiaoyun氏(China Mobile)(オンライン講演)、
Eric Hardouin(Orange)(オンライン講演)、Lorenzo Casaccia氏(Qualcomm)、
Juho Lee氏(Samsung)、Wen Tong氏(Huawei Wireless)(ビデオ講演)、
尾上誠蔵氏(国際電気通信連合)(ビデオ講演)

※PAWR：Platforms for Advanced Wireless Research

6G FNS：6G Future Network Services

【2. 開催概要】

●1日目(2024年10月16日(水))

(1) 午前の部：「5G国際ワークショップ」

冒頭、総務省総合通信基盤局長の湯本博信氏からの共催者代表挨拶に続いて、XGMF共同代表の森川博之氏から開会挨拶がありました。



総務省 湯本氏



XGMF 共同代表 森川氏

次に陸、海、空、宇宙の5G産業利用の最新動向に関して5名の方からのご講演がありました。



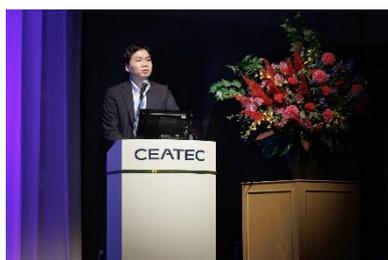
東海旅客鉄道 小出氏



5GAA Maxime Flament氏



Nokia Ray Tseng氏



KDDI スマートドローン
杉田氏



ソフトバンク 湧川氏

続いて大山氏、森川氏をそれぞれモデレータ、コメンテータに迎え「産業利用の最新動向～陸、海、空、宇宙に夢が広がる 5G 通信～」をテーマにパネル討論が行われました。海外のパネリストから日本市場の特徴や期待についてコメントがあったのち、各パネリストから、HAPS、工事現場や変電所などでのコネクティビティ、ドローンのユースケース、コネクティッドカー、鉄道でのミリ波利用などについて紹介があり、それぞれの最新動向における課題や展望・期待などが議論されました。

(柴山氏は Maxime Flament 氏に代わり 5GAA 代表としてパネル討論に参加いただきました。)



ON BOARD 大山氏



XGMF 共同代表 森川氏



NTT ドコモ 柴山氏



パネル討論の様子

左から大山氏、小出氏、柴山氏、Ray Tseng 氏、杉田氏、湧川氏、森川氏

(2) 午後の部：「ローカル 5G 国際ワークショップ」

冒頭、総務省総合通信基盤局電波部移動通信課長の小川裕之氏から開催挨拶がありました。



総務省 小川氏

続いて6名の方より、欧州、日本、台湾、米国のそれぞれの所属する団体や活動フィールドにおけるローカル 5G 利活用の最新動向について講演がありました。



5G-ACIA 城田氏



国立研究開発法人
情報通信研究機構
板谷氏



京セラ
コミュニケーションシステム
日比氏



日本電気 藤本氏



REIGN Technology
Brian Huang 氏



Verizon Business Group
Thomas Fuerst 氏

講演ののち、モデレータに中村武宏氏、コメンテータに岩浪剛太氏を迎え、会場参加の講演者4名によるパネル討論が行われました。

「工場・製造業+ビジネス開発に挑むグローバルな最前線」をテーマに、ローカル・プライベート 5G の普及が進まないという世界共通の課題を日本から解決すべく、製造業に対する 5G 導入状況、製造業側の無線通信の認識、ユースケースとアプリケーションのセット開発、製造業と ICT の両業界間のより密な連携方法について議論が交わされ、ローカル 5G・ミリ波の普及に向けて今後、XGMF・FFPA・5G-ACIA・BA の4団体の連携した取り組みが重要との結論で合意しました。



パネル討論の様子

左から岩浪氏、中村氏、城田氏、板谷氏、日比氏、藤本氏

最後に、XGMFの前身である5GMFの会長であった吉田進氏から、今後のXGMFの活動に向けた応援メッセージをいただきました。



インフォシティ 岩浪氏（左）
NTTドコモ 中村氏（右）



5GMF 元会長 吉田氏

●2日目（2024年10月17日（木））

「5G/6G 国際カンファレンス」

2日目は冒頭、総務省国際戦略局長の竹村晃一氏からの共催者代表挨拶ののち、6Gの実現も視野に入れた講演とパネル討議が行われました。最初に、ブラジル、日本、韓国、カンボジアの各政府関係者5名による講演が行われました。



総務省 竹村氏



ブラジル通信省
Hermano Tercius氏



総務省 松井氏



国立研究開発法人
情報通信研究機構
寶迫氏



韓国科学技術情報通信部
Chung Jaehoon氏



カンボジア郵便電気通信省
Kim Phirun氏

続いて、モデレータに中尾彰宏氏、パネリストに欧州、米国、日本から 6G 関連団体の代表者を迎え、「XG Cyber Lifeline (Advancing Resilient and Robust Cyber Infrastructure for a Global Digital Future)」をテーマにパネル討論が行われ、グローバルな優先課題の特定、国際協調の強化、国際産学連携の推進について議論が行われました。重点分野であるレジリエント NW の構築に対しては、AI-RAN、NTN などの活用が重要であり、次のステップとして共同 POC や共同プロジェクトの具体化が挙げられると纏められました。



XGMF 共同代表 中尾氏



PAWR
Abhimanyu Gosain 氏



6G FNS Program Board
Paul Wijngaard 氏



国立研究開発法人
情報通信研究機構
寶迫氏



パネル討論の様子

左から中尾氏、Abhimanyu Gosain 氏、Paul Wijngaard 氏、寶迫氏

続いて、韓国、中国、フランスのキャリア 3 名による講演が行われました。



SK TELECOM
Takki Yu 氏



China Mobile
Wang Xiaoyun 氏



Orange
Eric Hardouin 氏

続いて、米国、韓国、中国のベンダ 3 名による講演が行われました。



Qualcomm
Lorenzo Casaccia 氏



Samsung
Juho Lee 氏



Huawei Wireless
Wen Tong 氏

続いて、国際電気通信連合電気通信標準化局長 尾上誠蔵氏からビデオメッセージをいただきました。



国際電気通信連合電気通信標準化局 尾上氏

最後に XGMF 事務局長の西岡誠治氏より、全ての関係者への謝辞とともに、XG モバイル推進フォーラム (XGMF) にとっても本イベントにより 5G・6G 技術の今後の発展に向けた多くの示唆が得られ、今後の国際連携に向け引き続きのご支援とご協力をお願いしたい旨の閉会挨拶がありました。



XGMF 西岡氏

CEATEC 2024 に出展

『CEATEC 2024』が、幕張メッセで 10 月 15 日 (火) から 18 日 (金) までの 4 日間で開催されました。また、CEATEC の公式 Web サイトでは 10 月 1 日 (日) から 31 日 (火) まで、オンライン配信が行われました。

今年の CEATEC は、「経済発展と社会課題の解決を両立する『Society 5.0』の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、『共創』によって未来を描く」を開催趣旨として、808 社/団体 (去年は 684 社/団体) が出展しました。

幕張メッセ会場 4 日間の会期中に 112,014 名 (去年は 89,047 名) が来場、企業や官公庁、研究機関の方々をはじめ、各地の中・高校生や大学生など、幅広い世代の来場者で会場はにぎわいました。

ARIBでは、今年も同展示会に協力団体として参加するとともに、幕張メッセ及びWebサイトにて、電波利用システムの実用化及びその普及を促進し、電波産業の振興・発展を図る事業の一環として、最近の当会の事業活動を紹介しました。また、来場者の電波の有効利用に対する関心や理解を深めるべく、電波功績賞*を受賞された技術やシステムの紹介も実施しました。

※電波功績賞：

電波の有効かつ適正な利用に特別の功績を挙げられた個人又は団体を総務大臣表彰及びARIB会長表彰として、毎年表彰しているもの。

CEATEC 2024 幕張メッセ会場登録来場者数とARIBブースでのアンケート実施者数 (人)

	10月15日 (火)	10月16日 (水)	10月17日 (木)	10月18日 (金)	合計
幕張メッセ会場 登録来場者数	21,397	26,144	29,589	34,884	112,014
ARIB ブース アンケート実施者数	37	80	105	150	372

(参考：CEATEC 2023 の登録来場者数は、89,047 人)

CEATEC 2024 公式 Web サイト ARIB 来場者数(10/1～10/31)

	合計
ARIB サイト 来場者数	301

*幕張メッセ ARIB ブース



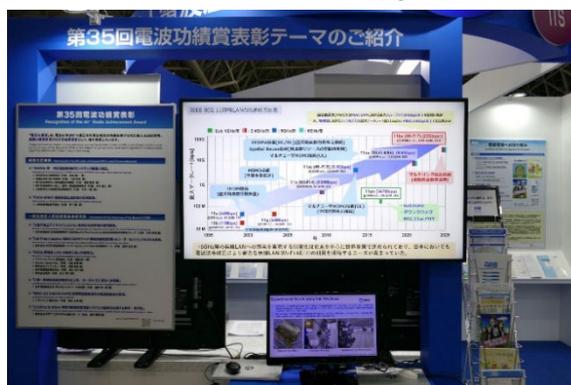
ARIB ブース外観①



ARIB ブース外観②



電波功績賞 (デモ展示)



電波功績賞(スライドショー)

*公式 Web サイト (ARIB サイト)



第 123 回規格会議の結果

10月29日(火)に、第123回規格会議がイイノカンファレンスセンターにおいて開催されました。今回は標準規格の改定7件及び技術資料の改定6件が提案通り決議されました。



第 123 回 規格会議の様様

本規格会議において決議された改定の概要は、以下のとおりです。

第 123 回規格会議 標準規格及び技術資料の改定の概要（議案順）

No.	規格等番号	規格名等	概要
1	ARIB STD-T115 2.5 版	市町村デジタル同報 通信システム TYPE2 標準規格	<p>本標準規格は、地域住民に対する災害等の周知、避難所への誘導などを音声等で通知する同報系防災行政無線について、無線設備規則第 58 条の 2 の 12 に規定される 60MHz 帯の電波を使用する市町村デジタル防災無線通信を行う固定局の無線設備のうち、SCPC 方式による音声通報等を主体とした比較的簡便かつ低廉なデジタル方式（4 値 FSK 方式、QPSK ナロー方式及び QPSK ワイド方式）の同報通信システムの無線区間インタフェースについて規定しているものである。</p> <p>今回の改定は、各編の図番号などを修正するものである。</p>
2	ARIB STD-T118 2.3 版	時分割・直交周波数 分割多元接続方式 デジタルコードレス 電話用無線設備標準 規格	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 8 の 2 の 3 に規定される時分割・直交周波数分割多元接続方式デジタルコードレス電話（sXGP 方式）について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、同一構内の屋外上空で sXGP 対応のドローン等を利用する場合の規定を「運用の手引き」に追加等するため改定を行うものである。</p>
3	ARIB STD-T120 Ver.3.60	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、3GPP（Third Generation Partnership Project）の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems（International Mobile Telecommunications Systems）に関するもので、無線アクセスネットワーク、コアトランスポートネットワーク、コーデック、セキュリティ、サービス機能などのシステム仕様を規定するものである。</p> <p>今回の改定は、IMT Systems based on 3GPP Specifications（ARIB STD-T120 Ver.3.50）に対し、リリース 8 からリリース 17 までの範囲のうち 3GPP が 2023 年 10 月から 12 月までの間に更新した技術仕様を踏まえ、所要の改定を行うものである。</p>

No.	規格等番号	規格名等	概要
4	ARIB TR-T23 Ver.3.60	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB Technical Report	<p>本技術資料は、3GPP (Third Generation Partnership Project) の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems (International Mobile Telecommunications Systems) に関するもので、規格策定の基となる技術情報や要求条件を記載したものである。</p> <p>今回の改定は、IMT Systems based on 3GPP Specifications (ARIB TR-T23 Ver.3.50) に対し、リリース 8 からリリース 17 までの範囲のうち 3GPP が 2023 年 10 月から 12 月までの間に更新した技術資料を踏まえ、所要の改定を行うものである。</p>
5	ARIB STD-T120 Ver.3.70	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、3GPP (Third Generation Partnership Project) の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems (International Mobile Telecommunications Systems) に関するもので、無線アクセスネットワーク、コアトランスポートネットワーク、コーデック、セキュリティ、サービス機能などのシステム仕様を規定するものである。</p> <p>今回の改定は、IMT Systems based on 3GPP Specifications (ARIB STD-T120 Ver.3.60) に対し、リリース 8 からリリース 17 までの範囲のうち 3GPP が 2024 年 1 月から 3 月までの間に更新した技術仕様を踏まえ、所要の改定を行うものである。</p>
6	ARIB TR-T23 Ver.3.70	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB Technical Report	<p>本技術資料は、3GPP (Third Generation Partnership Project) の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems (International Mobile Telecommunications Systems) に関するもので、規格策定の基となる技術情報や要求条件を記載したものである。</p> <p>今回の改定は、IMT Systems based on 3GPP Specifications (ARIB TR-T23 Ver.3.60) に対し、リリース 8 からリリース 17 までの範囲のうち 3GPP が 2024 年 1 月から 3 月までの間に更新した技術資料を踏まえ、所要の改定を行うものである。</p>

No.	規格等番号	規格名等	概要
7	ARIB STD-T120 Ver.4.00	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、3GPP (Third Generation Partnership Project) の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems (International Mobile Telecommunications Systems) に関するもので、無線アクセスネットワーク、コアトランスポートネットワーク、コーデック、セキュリティ、サービス機能などのシステム仕様を規定するものである。</p> <p>今回の改定は、IMT Systems based on 3GPP Specifications (ARIB STD-T120 Ver.3.70) に対し、リリース 8 からリリース 17 までの範囲のうち 3GPP が 2024 年 4 月から 6 月までの間に更新した技術仕様を反映するとともに、新たにリリース 18 の技術仕様を追加するものである。</p> <p>上記の通り新たなリリースを追加することから、大幅な改定とし Ver.4.00 とする。</p>
8	ARIB TR-T23 Ver.4.00	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB Technical Report	<p>本技術資料は、3GPP (Third Generation Partnership Project) の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems (International Mobile Telecommunications Systems) に関するもので、規格策定の基となる技術情報や要求条件を記載したものである。</p> <p>今回の改定は、IMT Systems based on 3GPP Specifications (ARIB STD-T120 Ver.3.70) に対し、リリース 8 からリリース 17 までの範囲のうち 3GPP が 2024 年 4 月から 6 月までの間に更新した技術仕様を反映するとともに、新たにリリース 18 の技術仕様を追加するものである。</p> <p>上記の通り新たなリリースを追加することから、大幅な改定とし Ver.4.00 とする。</p>

No.	規格等番号	規格名等	概要
9	ARIB STD-B25 7.0 版	デジタル放送におけるアクセス制御方式標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送に使用されるアクセス制御方式に関し、スクランブル、関連情報の仕様及びそれに関わる受信機仕様について規定したものであり、第 1 部に受信時の制御方式である限定受信方式を、第 2 部に再生時の制御方式である限定再生方式を、第 3 部に受信時の制御方式であるコンテンツ保護方式を、第 4 部にセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送のアクセス制御方式を規定している。</p> <p>今回の改定は、アクセス制御方式のうち受信時の制御方式（限定受信方式）において、4K 放送で使用されている CAS チップ（受信機に内蔵する形態）を BS/広帯域 CS/地上波デジタル放送の受信機（2K 専用受信機）でも使用できるように規定を追加するものである。</p> <p>なお、広く普及している 2K 専用受信機への機能追加でありインパクトが大きいことから、大幅改定とし 7.0 版とする。</p>
10	ARIB STD-B62 2.3 版	デジタル放送におけるマルチメディア符号化方式（第 2 世代）標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送における第 2 世代のマルチメディア符号化方式として、高度広帯域衛星デジタル放送に適用されるものである。</p> <p>今回の改定は、第二編において、高度広帯域衛星デジタル放送サービスと本標準規格規定外のアプリケーションとの連携機能を実現するための放送用拡張関数の追加変更を行うものである。</p>
11	ARIB TR-B14 6.11 版	地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式による高精細度テレビジョン放送の放送局での運用並びに受信機の機能仕様に関し規定したものである。</p> <p>今回の主な改定は、放送受信機で動作するアプリケーションについて、用語や記載の明確化等を行うものである。</p>

No.	規格等番号	規格名等	概要
12	ARIB TR- B15 8.6 版	BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、BS/広帯域 CS デジタル放送の伝送方式による高精細度テレビジョン放送の放送局での運用並びに受信機の機能仕様に関し規定したものである。</p> <p>今回の主な改定は、放送受信機で動作するアプリケーションについて用語や運用に関する記載の明確化、放送事業者名や運用の変更に伴い記載の修正等を行うものである。</p>
13	ARIB TR- B39 2.9 版	高度広帯域衛星デジタル放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、高度広帯域衛星デジタル放送の伝送方式による超高精細度テレビジョン放送の放送局での運用並びに受信機の機能仕様に関し規定したものである。</p> <p>今回の主な改定は、高度広帯域 CS デジタル放送事業者のサービス終了に伴う記載の追加や削除、文字符号に関する規定の明確化などを行うものである。</p>

ARIB 内会合（11月4日～11月8日）予定

- 11月5日（火）：デジタル放送システム開発部会 主任会議 Web 会議併用
- 11月6日（水）：デジタル放送システム開発部会
地上放送高度化方式検討 TG Web 会議併用
- 11月7日（木）：第70回モバイルパートナーシップ部会 Web会議

国際会合（11月4日～11月8日）予定

- 11月4日（月）～8日（金）：ITU-R WP 6C（ジュネーブ） Web会議併用
- 11月5日（火）～13日（水）：ITU-R WP 6A（ジュネーブ） Web会議併用

新世代モバイル通信システム委員会報告（案）に対する意見募集
－「新世代モバイル通信システムの技術的条件」のうち「第5世代移動通信システムの高度化（RedCap/eRedCap）に関する技術的条件等」－
【令和6年10月25日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 新世代モバイル通信システム委員会（主査：森川博之 東京大学 大学院 工学系研究科 教授）は、「新世代モバイル通信システムの技術的条件」のうち「第5世代移動通信システム（5G）の高度化（RedCap/eRedCap）に関する技術的条件等」について新世代モバイル通信システム委員会報告（案）として取りまとめましたので、令和6年10月26日（土）から同年11月25日（月）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和6年10月25日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

陸上無線通信委員会報告（案）に対する意見募集
－「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち
「無線LANシステムの高度化利用に係る技術的条件」のうち
「5GHz帯無線LANの上空利用に係る技術的条件」－
【令和6年10月25日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会（主査：三次 仁 慶應義塾大学 環境情報学部 教授）は、平成14年9月30日付け諮問第2009号「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「無線LANシステムの高度化利用に係る技術的条件」のうち「5GHz帯無線LANの上空利用に係る技術的条件」について検討を行ってきました。

この度、陸上無線通信委員会報告（案）を取りまとめましたので、令和6年10月26日（土）から同年11月25日（月）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和6年10月25日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

5G&LSGで飛躍する
MCPC モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
 Mobile Computing Promotion Consortium

～設計構築にすぐ役に立つ～
第5回 ローカル5G実践研修講座

2024年12月2日(月)～12月3日(火)



第5回 ローカル5G 実践研修講座 開催のご案内

実証実験段階からいよいよ社会実装フェーズに入ってきたローカル5Gですが、導入を考えている皆様も、設計構築しようとする際にすぐ役に立つ知識やノウハウを習得できる実践研修講座の第5回目を開催します。この講座を受講することで、以下のような導入から運用までのプロセスや検討すべきポイントを習得することができます。



【開催概要】 ～設計構築にすぐ役に立つ～ ローカル 5G 実践研修講座(11 時間コース)

今回の実践研修講座は、MCPC 会員の NEC ネットスアイ株式会社様との共同開催です。

開催日:2024年12月2日(月) 9:00 ～ 12月3日(火) 12:00 まで (1.5 日)

※ 各日の受付開始は 8:30～

申込 URL: <https://ijuken.com/prod/user/mcpc-jp/public/>

申込の流れ: <https://www.mcpc-jp.org/license/entry/>

申込期間:2024年10月1日(火) ～ 11月15日(金)

開催場所:NEC ネットスアイ株式会社 新川崎テクニカルベース 6階 601 研修室
 〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番2号

Google Map 検索の場合は「NEC ネットスアイ(株)基盤技術センター」で検索ください。

ご来場は公共交通機関のご利用をお願いします。

受講料 : <一般> 55,000 円(税込) / <MCPC 会員> 44,000 円(税込)

※会員割引でお申込をご希望される場合は、その旨を (msec@mcpc-jp.org) までメールでご連絡をお願いいたします。

申込定員:22 名 申込先着順 ※ 定員になり次第申込を締め切ります。

対象者:ローカル 5G 導入を検討している方、ローカル 5G 構築に関するノウハウを習得したい方を対象にしています。

申込 URL



申込の流れ



モバイル&IoTで飛躍する



モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル2階
<https://www.mcpc-jp.org/>



検定・講習会のお問合せは
MCPC検定事務局 TEL.03-5401-1735
 FAX.03-5401-1937
 E-mail:msec@mcpc-jp.org



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
 発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
 TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp